

# 第1学年生活科学学習指導案

日 時 令和5年11月24日(金)

## わくわく・どきどき・チャレンジ蔵前 Next stage へ ～協働×問い＝深い学び～

目指す児童像：楽しみながら学び、自分の考えを伝える子

1 単元名 「たのしい あき いっぱい」(21時間)

### 2 単元の目標

秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりすることができ、自然の様子や四季の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとするようにする。

〈指導要領の位置付け〉

次	内 容
一次	(5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。
二次 三次	(6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。
四次	(8) 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりことができ、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとする。

### 3 評価規準

#### (1) 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること、遊びや遊びに使うものを工夫して作ることの面白さ、自然の不思議さに気付いている。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、身近な自然を使って、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりしている。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとしている。

(2) 小単元の評価基準

	ア 知識及び技能の基礎 (身近な環境や自分についての気付き)	イ 思考力・判断力・ 表現力等の基礎 (活動や体験についての思考・表現)	ウ 主体的に学習に 取り組む態度 (生活への関心・意欲・態度)
一次 あきを さがそう	①色や形、においなど、秋の校庭の自然の様子と、夏の校庭の自然の様子との違いに気付いている。 ②身近な自然の様子が、夏から秋になって変化していることに気付いている。	①幼児期や日常の経験を思い起こして、秋の自然の特徴を探している。	①秋の自然の変化を予想して、夏の自然との違いを探そうとしている。
二次 はっぱやみで あそぼう	③秋の自然物の特徴に気付いている。	②秋の自然物を並べると、どんな形になりそうかを想像しながら、遊びに使う自然物を選んでいる。	②秋の自然と関わりたいという思いをもち、工夫して秋の自然を生かした遊びを楽しもうとしている。 ③季節を生かして遊ぶことに楽しさと手応えを感じ、これからも季節の遊びを楽しもうとしている。
三次 あきの おもちゃを つくろう	④いつも同じ現象が起こるなど、自然の中に一定のきまりがあることに気付いている。	③さまざまな自然物を試しながら比べ、材料を選び、工夫しておもちゃを作っている。	④自分で遊びを創り出す面白さを実感し、これからも遊びを創り出そうとしている。
四次 つくった おもちゃで あそぼう	⑤みんなで創った遊びをする際に、遊びのルールを守っている。 ⑥自分が遊びを創り出したことで、楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。		

4 児童の実態

略
---

## 5 単元について

本単元は、学習指導要領の内容（５）「季節の変化と生活」（６）「自然や物を使った遊び」（８）「生活や出来事の伝え合い」を受けて設定したもので、第１学年の「ふゆを たのしもう」第２学年の「うごく うごく わたしのおもちゃ」の学習につながるものである。

生活科の「なつがやってきた」では、夏の動植物や自然の特徴に気付き、身近な自然物である水を使った遊びや遊びに使う物を試行錯誤しながらつくり、夏だからこそ楽しめる遊びを創りだすことができた。本単元では、夏の経験を生かして、友達と進んで関わりながら秋の自然の様子と夏の様子との違いや秋の特徴について考えたり、秋の自然のものを使って楽しいおもちゃを工夫して作ったりすることがねらいである。

本単元では、春、夏の活動を振り返り、秋の自然に関わりたい思いや願いをもたせることで季節の変化に気付き、身近な自然の違いや特徴を見付け、集めた「あきのおたから（葉や木の実などの自然物）」を使った遊びを工夫しようとする児童を育てたい。そのために、秋の自然物を使うと、どんな遊びになりそうかを想像しながら、遊びに使う自然物を選んだり、秋の自然物を大きさや形、色などで分けたり、並べたりして遊ぶ活動を取り入れ、様々な体験を通して自然の中に一定のきまりがあることに気付き、集めたさまざまな葉や木の実を試しながら比べて材料を選び、楽しいおもちゃを作り出すことでその面白さや、自然の不思議に気付くことができるようにする。

また、友達のおもちゃと「比べて」相違点や共通点に気付くこと、「繰り返し」遊んで疑問をもつこと、「試す」ことで物がもつ特性に気付くことができるように指導していく。さらに、友達との関わり合いを通して、おもちゃに合わせた遊びの場を工夫し、約束やルールを考えることでより楽しく遊べることに気付いたり、みんなで楽しく遊ぶことを味わうことで、関わり合いのよさに気付いたりすることができるようにしていく。

### 他教科との関連

教科	単元名	主な内容
国語科	すきなもの、なあに	・必要な事柄を選び、話す。
	ききたいな、ともだちのはなし	・話の内容を捉えて感想をもつ。
	おおきくなった	・観察の観点や記録の仕方を知り、発見メモや様子を伝える文章を書く。
算数科	かたちあそび	・形の特徴を捉える。
	かたちづくり	
音楽科	みのまわりのおとに みみをすまそう	・見つけた音で遊び、音の面白さに気付く。
	がっきとなかよくなるろう	・いろいろな楽器を知る。
	ようすをおもいうかべよう	・思い浮かべた様子に合わせて、歌い方や楽器の鳴らし方を工夫する。
図画工作科	クレヨンやパスとなかよし	・葉をこすってうつす。
	ひらめきコーナー	・紙に穴をあけたり、紙を丸めたり折ったりして作品を作って楽しむ。

## 6 研究主題に迫るための手立て

「協働×問い=深い学び」を実現させるための工夫

手立て① 4つの問いの工夫	
<p><b>【理解の問い】</b></p> <p>・オープンに秋に関する本を用意、展示しておく。秋へのイメージを深め、学習の見通しをもつ助けとなるようにする。</p>	全
<p><b>【関連の問い】</b></p> <p>・春や夏の活動を振り返り、秋の自然ではどのようなことをしたいか願いをもたせる。</p> <p>・伝え合いの活動を通して、友達との共通点や相違点に気づき、秋のイメージを深めたり、遊びを工夫したりする。</p>	一次 二次 三次
<p><b>【方略の問い】</b></p> <p>・秋の自然物で遊ぶ際、「選ぶ」「作る」「試す」を繰り返すことで、思いや願いを実現できるようにする。</p>	二次 三次
<p><b>【振り返りの問い】</b></p> <p>・振り返りカードを活用し、自分の思いや願いや、活動の進捗状況を確認させ、学習の見通しをもたせる。</p>	全
手立て② 自分の考え方のもたせかたの工夫	
<p><b>【季節の変化を気付かせる廊下掲示】</b></p> <p>木を中心として精華公園を定期的に撮影し、廊下に掲示する。夏から秋にかけての葉の色の変化に気づき、季節の変化を感じやすくする。また、特に変化のない木もあることに気付かせ、自然の不思議さにも気付けるようにする。</p>	一次
<p><b>【イメージマップを作る活動】</b></p> <p>単元の始めには、「秋といえば」から連想しイメージマップをつくる。イメージマップを作ることで秋に見つけられる植物や動物、秋だからこそ楽しめる遊びを想起させ、秋ならではのことを体験したいという思いや願いをもたせる。</p>	一次
<p><b>【ICTの活用】</b></p> <p>・ICT機器を活用し、工夫した点や遊んでいる様子を写真で記録していくことで、より楽しく遊ぶためにはどうしたらよいのか考えたり、伝え合ったりする活動がより活発化できると考えた。</p> <p>・写真や映像を見比べることで些細な変化に気が付き、新たな発見が生まれると考えた。</p>	全
<p><b>【ポケットずかんの活用】</b></p> <p>生活科の教科書に貼付されている「ポケットずかん」を活用しながら秋探しを行う。秋に主に見つけられる動植物を探したいという思いをもち、より自然と関わることができるようにする。さらに、季節ごとの生き物や植物の種類を比べることができ、四季の変化への気づきの質が高まるような活動につながると考える。</p>	一次
<p><b>【あきのたからさがしビンゴ】</b></p> <p>「秋」を見付ける視点を示して活動することで、無自覚だった秋への気づきを自覚しやすくする。木、実、葉、花、虫など様々な視点から秋を感じることで、夏には感じられなかった秋の特徴に気づきやすくなると考える。</p>	一次

<p><b>【場の設定】</b></p> <p>「工夫する」「試す」活動をできる限り多くできるような場を設定する。</p> <p>工夫したことをすぐに試す場を設けることで、児童が考えて行った工夫に効果があったのかどうかもすぐに分かるようにする。そうすることで児童が試行錯誤しようとしたり、繰り返し活動したりしやすくなると考えた。</p>	<p>二次 三次 四次</p>
<p><b>手立て③ 協働の工夫</b></p>	
<p><b>【ICTの活用】</b></p> <p>撮った写真を見せ合い友達と共有する。それぞれがどんな秋を感じたのかを記録したり、伝え合ったりすることで、これまで気付いていなかった四季の変化に気付くことができる。また、秋の自然物を使った遊びも写真を撮って共有し、友達の工夫や良いところを見つけやすくする。</p>	<p>一次 二次</p>
<p><b>【場の設定】</b></p> <p>友達と比べる活動を促す場を設定する。</p> <p>座席配置を口の字型やグループ型にするなど、学習内容に合わせて変えることで互いが考えたことや作っているものを見やすくし、交流を促すことで、児童が自然とお互いの考えを比べることができるようにする。</p>	<p>二次 三次 四次</p>

7 指導計画（本時 8時間／21時間目）

次	時	○学習活動 ・予想される児童の反応	◎指導上の留意点 □評価【評価方法】 ・手立て
一次 あきをさがそう	1	<p>○「なつみつけ」でイメージしたことや遊んだことを思い出し、「あきみつけ」をしたいという思いや願いをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏より涼しくなったね。</li> <li>・夏に見つけた花はどうなったかな。</li> <li>・どんぐりをみつけたことがあるよ。</li> <li>・松ぼっくりを拾って遊びたいな。</li> <li>・秋になると葉っぱの色が変わるよ。</li> <li>・落ち葉集めをしたいな。</li> <li>・お月見がしたいな。</li> </ul> <p>○学習計画を立てる。 ○学習の振り返りをする。</p>	<p>◎夏のイメージマップを思い出して、秋のイメージマップも作ってみたいと思えるようにする。</p> <p>◎イメージマップで秋のイメージを広げることで、どうしたら秋を楽しく過ごせるか考えられるようにする。</p> <p>◎今までの遊びの経験を聞く時間を十分にとって、秋を楽しむ意欲を高める。</p> <p>◎秋への関心をもたせるために秋に関する本を集め、オープンに展示しておく。</p> <p>・手立て②</p> <p>□ウー①【ワークシート①・発言】</p>
	2・3	<p>○公園で花や虫を探す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・草や葉の色が変わってきたよ。</li> <li>・夏とは違った花が咲いていたよ。</li> <li>・前にもあった花が枯れてしまっているよ。</li> <li>・どんぐりがおちていたよ。</li> <li>・公園には学校と違う花があったよ。</li> <li>・公園でも花や虫を探したいな。</li> <li>・もっとたくさん秋を見つけたいな。</li> </ul> <p>○見つけた秋をタブレットで共有する。</p> <p>○学習の振り返りをする。</p>	<p>◎教科書のポケットずかんを外して、机の中に入れておき、いつでも見られるようにしておく。</p> <p>◎タブレット端末で身近な秋の自然を撮り、発見したことを伝える。</p> <p>・手立て②</p> <p>□アー①【タブレット】</p>
	4・5	<p>○公園で「あきのたからさがしビンゴ」をしながら、木の実や葉などを拾う「おたからあつめ」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全部見つけられたよ。</li> <li>・大きな松ぼっくりを見つけたよ。</li> <li>・夏よりも涼しかったな。</li> <li>・夏に来た時と葉の色が変わっていたよ。</li> <li>・集めたお宝を使って秋を楽しみたいな。</li> <li>・秋のお宝を使った遊びを知りたいな。</li> </ul> <p>○学習の振り返りをする。</p>	<p>◎公園にある草花を調べておき、楽しくビンゴができるようにする。</p> <p>・手立て②</p> <p>□イー①【行動観察】</p> <p>□アー②【ワークシート②・発言】</p>

6

- お宝箱にどんな自然物が入っているのかよく見て触り、気付いたことを発表する。
  - ・いろいろな大きさの葉っぱがあるよ。
  - ・色も違うよ。
  - ・どんぐりの形が同じじゃないよ。
- 集めてきた自然物で何をしたいのか考え、全体で共有する。
  - ・葉っぱや木の実を並べてみたいな。
  - ・松ぼっくりを投げて遊びたいな。
  - ・どんぐりを回して遊びたいな。
  - ・葉っぱを集めて降らせてみたいな。
  - ・葉っぱでお面を作りたいな。
- 思いや願いを基に、どうやって仲間分けするか考える。
  - ・葉っぱによって色が違うから色で分けよう。
  - ・色が同じでも大きさが違うから大きさを分けよう。
  - ・形が同じになるようにしよう。
  - ・ロケットみたいなどんぐりとボールみたいななどんぐりがあるよ。
- 考えた種類ごとに「あきのおたから」を分類していく。
- 遊ぶために使いたい「あきのおたから」を選ぶ。
  - ・この葉っぱの赤い色がきれいだな。
  - ・この大きな松ぼっくりを使いたいな。
- 学習の振り返りをする。

- ◎集めたものの特徴に気付かせるため、自然物にさわる時間を十分に確保する。
  - ・手立て②③
- ウー②【ワークシート③】
- ◎「あきのおたから」で遊ぶ際、遊びやすくなるように分類することに気付かせる。
- ◎児童のつぶやきや気付きを基に分類する。
- ◎箱を用意し、考えた種類ごとに分けることができるようにする。
- ◎児童が感じ取った事柄を、教師が尋ね返したり問いかけたり共感したりするなどの言葉がけをする。
- ウー③【行動観察・発言】

	7・8 (本時)	<p>○集めてきた自然物で遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤い葉っぱを羽にしてちょうちよを作ったよ。</li> <li>・松ぼっくりに小さい葉っぱで目をつけてみたよ。</li> <li>・魚ができたよ。</li> </ul> <p>○遊んでつくったものを見合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇さんも松ぼっくりを使っているけど違う動物をつくったんだね。</li> <li>・同じちょうちよだけど色が違うよ。</li> </ul> <p>○友達の並べたものも参考にして、他にも並べて遊ぶ。</p> <p>○学習の振り返りをする。</p>	<p>◎画用紙の上に並べて活動させる。</p> <p>◎写真を撮ったらもう1回遊んでよいことを伝える。</p> <p>◎作業中も、友達の並べたものを見て回ってよいことを伝えておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手立て②③</li> </ul> <p>□イー②【タブレット】</p> <p>◎活動が活発になるように、前時の活動を思い出させ、うまくできたことを活用するよう言葉をかける。</p> <p>□アー③【発言・振り返りシート・ワークシート④】</p>
三次 あそびのおもちゃをつくる	9	<p>○こまづくりをして遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・真ん中に棒をさすとうまく回るよ。</li> <li>・棒を短くすると長く回ったよ。</li> <li>・この形のどんぐりを使うと長く回るよ。</li> <li>・もっと長くどんぐりを回してみたいな。</li> <li>・他の遊びもやってみたいな。</li> </ul> <p>○他にどんな遊びをしたいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マラカスをつくってみんなで遊んでみたいな。</li> <li>・けん玉が好きだから松ぼっくりでけん玉をやってみたいな。</li> <li>・松ぼっくりを投げて点数をつけたら面白そうだな。</li> <li>・みんなで一緒にこまをまわして誰が一番長く回せるか勝負したいな。</li> <li>・やじろべえはどんなことができるだろう。</li> </ul> <p>○学習の振り返りをする。</p>	<p>◎教師が作ったおもちゃを提示したり、教科書や、資料となる本を提示したりして制作への関心を高め、活動の幅を広げる。</p> <p>◎単元の最後にお店屋さんとお客さんに分かれておもちゃフェスティバルをやることを伝え、みんなが楽しめる遊びを考えさせるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手立て②③</li> </ul> <p>□ウー④【行動観察・発言】</p>



<p>10 . 11</p>	<p>○前時を振り返り、作ってみたいおもちゃを考える。</p> <p>○完成図を描き、必要なものを用意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんぐりでこままわし</li> <li>・けん玉遊び</li> <li>・松ぼっくりを投げる遊び</li> <li>・やじろべえ</li> <li>・マラカス</li> <li>・教科書は紙コップだけど牛乳パックを使ってみるのはどうかな。</li> <li>・どの大きさのどんぐりを選べばいいかな。</li> <li>・みんなが楽しめるようにいろいろなところに棒をさしたこまをつくってみようかな。</li> <li>・はやくつくってみんなとあそんでみたいかな。</li> </ul> <p>○学習の振り返りをする。</p>	<p>◎自然物の色や形を生かして遊ぼうとしている児童を取り上げ、称賛し、全体に広げる。</p> <p>◎必要な材料は、教師がある程度用意しておき、材料を見ながら考えることができるようにする。</p> <p>◎展示の本を参考にしてもよいことを伝える。</p> <p>□イー③【ワークシート⑤】</p>
<p>12 . 13 . 14 . 15</p>	<p>○計画したおもちゃ作りを始める。</p> <p>○出来上がったら実際に試して改善するところを探し、修正する。</p> <p>こままわし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・棒の長さを短くしてみたよ。</li> <li>・棒を指す場所で回り方が変わったよ。</li> <li>・どの形のどんぐりが一番回るかな。</li> </ul> <p>松ぼっくりを投げる遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・得点をつけて遊ぶといいかな。</li> <li>・松ぼっくりの大きさを変えてみようかな。</li> </ul> <p>やじろべえ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・棒の先のどんぐりの数をふやしてみようかな。</li> </ul> <p>マラカス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんぐりの数を多くしたら音が変わったよ。</li> <li>・どんぐりだけでなく松ぼっくりも入れてみようかな。</li> <li>・紙コップだけでなくプラスチックのカップでもやってみようかな。</li> </ul>	<p>◎試す・遊ぶを繰り返しながら材料や作り方を工夫できるように、材料と時間を十分に確保する。</p> <p>◎安全に配慮が必要な道具は教師の目の届く場所で行うように指導する。</p> <p>◎自然物の特徴を生かすなど工夫している児童を取り上げ、称賛し、全体に広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手立て②</li> </ul> <p>□アー④【行動観察・発言・振り返り】</p>

四 次 つ く っ た お も ち や で あ そ び ま じ ろ	16 . 17	<p>○自分たちで作ったおもちゃで遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○さんがつくったこまは長く回るよ。ぼくのと何が違うんだろう。</li> <li>・いろいろな音ができるマラカスを使ってみんなで作ってみたいよ。</li> <li>・小さい松ぼっくりで的当てをしたらたくさん得点できたよ。</li> <li>・○○さんのやじろべえすごいな、なんで落ちないんだろう。</li> </ul> <p>○学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のクラスがやった遊びもやってみたいな。</li> <li>・こまがとっても長く回ったからみんなに見せたいな。</li> <li>・他のクラスのお友達と勝負してみたいな。</li> </ul>	<p>◎同じ種類の物を作っている児童同士で競い合う場を用意して、互いの共通点や相違点に気付くように交流を促す。</p> <p>◎友達から聞いたことを、自分のおもちゃに生かすように言葉がけをする。</p> <p>◎おもちゃや楽器が改良されていくことを称賛し、工夫することの面白さを実感させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手立て②③</li> </ul> <p>□ウー④【ワークシート⑥・行動観察・発言】</p>
	18	<p>○「あきのおもちゃランド」を計画する。</p> <p>○学習の振り返りをする。</p>	
	19 . 20	<p>○「あきのおもちゃランド」で、作ったおもちゃで遊ぶ。(学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊び方を教えてもらって楽しかったな。</li> <li>・同じ遊びがあるね。</li> <li>・隣のクラスの○○さんは違う遊び方を思いついていたよ。</li> <li>・△△さんは同じ遊びを考えていたよ。でも△△さんは～しているところが違ったよ。</li> <li>・□□さんのこま、面白い回り方をしていたよ。どうやって作ったんだろう。</li> </ul>	<p>◎店員さんとお客さんに分かれて活動させる。</p> <p>◎活動の中でお客さんの様子を気にかけてたり、お客さんに感想を聞いたりするように言葉がけをする。</p> <p>◎楽しく遊ぶために、おもちゃや遊びのルールを改良するよう促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手立て③</li> </ul> <p>□アー⑤【行動観察】</p>
	21	<p>○ワークシートに自分が見つけた秋や楽しかった遊びについて振り返りを記入する。</p> <p>○ワークシートや秋の自然物を使って、自分が見つけた秋や楽しかった遊びについて紹介しあう。</p>	<p>◎発表を聞いている児童の新たな気付きや関連した気付きが生まれたときは、そのつぶやきを拾う。</p> <p>◎友達の発表に共感したり、みんなで秋を楽しめたことを称賛したりする場を設ける。</p> <p>□アー⑥【ワークシート⑥・発言】</p>

8 本時（第8時／全21時間扱い）

(1) 本時の目標

秋の自然物の特徴に気付き、自然物を使って遊ぶ。(知)

(2) 展開

過程	○学習活動	T：教師の問い C：予想される児童の反応	◎指導上の留意点 □評価【評価方法】 ・手立て
導入	○前時の振り返りをする。  ○本時のめあてを確認する。	T：「あきのおたから」を並べてどんなものをつくったかな？ C：うさぎができたよ。 C：葉っぱと赤い実を使って魚ができたよ。	◎見つけた「あきのおたから」をならべたり、かさねたりして遊んだことを思い出させる。
あきのおたからであそぼう。			
	○学習の流れを確認する。		◎学習の流れを提示する。
活動	○「あきのおたから」を選びながら並べて遊ぶ。  ○並べてできたものをタブレットのカメラ機能で撮る。	T：友達のいいところも取り入れながら、さらに工夫して遊んでみましょう。 C：この葉っぱはうさぎの耳になりそうだな。 C：○○さんみたいに葉っぱをつかったら、・・・がくれたよ。 C：○○さんみたいにどんぐりを使ってみたよ。  C：うさぎができたよ。 C：葉っぱと赤い実を使ったら魚ができたよ。 C：松ぼっくりに赤い実を乗せたらクリスマスツリーみたい。	◎画用紙の上に並べて活動させる。 ◎「あきのおたから」をよく見たり、触ったりするように言葉がけをし、秋の自然物の特徴を意識させる。 ◎秋の自然物の特徴を生かして表現することを意識させる。 ◎友達のよさを取り入れてもよいことを伝える。 ◎机を班の形にして口の字型に並べ、真ん中に「おたからコーナー」を設置し、足りない物や使いたい物があれば持って行ってよいことを伝える。 ◎写真を撮ったら、もう1回遊んでよいことを伝える。

<p>伝え合い</p>	<p>○自分のつくったものをグループで伝え、見合う。</p> <p>○友達の遊びを見て、素敵だな、真似したいなと思ったことを発表する。</p>	<p>T：遊びを友達に紹介しましょう。</p> <p>C：魚をつくりました。工夫したところは違う形のどんぐりを二つつなげたところでは。</p> <p>C：どんぐりでも魚がつかれるんだね。</p> <p>C：うさぎをつくりました。工夫したところは耳の葉っぱの大きさをそろえたところでは。</p> <p>C：うさぎをつくったんだね。かわいいね。</p> <p>C：はっぱが耳になるんだね。</p> <p>T：友達の遊びを見ていいな、素敵だなと思ったことを発表しましょう。</p> <p>C：木の枝を並べて、形をつくることを真似してみたいと思いました。</p> <p>C：〇〇さんのうさぎが可愛かったです。どんぐりを使ってつくってみたいです。</p>	<p>◎伝え合いのポイントを示す。</p> <div data-bbox="1104 232 1449 636" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>話す（話型）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしは〇〇をつくりました。</li> <li>工夫したところは〇〇です。</li> </ul> <p>聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想を言う</li> <li>・お礼を言う</li> </ul> </div> <p>◎児童の作品を大型提示装置に映し、全体に共有する。</p>
<p>まとめ</p>	<p>○学習の振り返りをする。</p> <p>○次時以降の思いや願いを確認する。</p>	<div data-bbox="564 1106 1082 1223" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>あきのおたからの色や形をつかって遊ぶことはできましたか。</p> </div> <p>T：次はどんなことがしたいですか。</p> <p>C：どんぐりでこまをつくりたい。</p> <p>C：いろんなおもちゃをつくりたいな。</p>	<p>□ア-③【タブレット・振り返りシート】</p>

(3) 板書計画

たのしい あき いっぱい	めあて	あきのおたからであそぼう
<あそびかた>	<くふう>	つたえあい ポイント

(4) 場の設定

